



早いもので、今年も1年が過ぎようとしています。例年の話題ですが今年もパソコンの大掃除。パソコンもよく動いてくれたことと思います。

## まずはいつもの作業

昨年この話題に触れましたが、やはり年末の話題にしておきたいと思います。詳しくは、昨年の12月号で触れていますので、バックナンバーを参照いただければと思います。

まず、外観。キーボードなんかは結構汚れていますので、拭き掃除を中心に。それが終わったら、次は内部の掃除。

その前に**Cドライブの空き状況**を確認しておきましょう。空き容量が少ないと動作に影響します。半分くらいは空きを作っておきたいところですよ。どうしても削除できないようなビデオや写真データは外部メディアに保存しなおすとよいでしょう。



その後、掃除の順番です。ウィンドウズの付属ソフトより、以前紹介したフリーソフトで、不要データの削除やデフラグを行います。

**Mac**では**Windows**パソコンに比べファイルの断片化が起こりにくいよう、デフラグ処理は不要なようです。ただ、不要データの削除は行っておきましょう。



## もう少し踏み込んで

**XP**パソコンはまだまだ現役で動いていると思いますが、デフラグ等を行っても「立ち上がりが遅い」や「動作がもたつく」など不満が残る場合もあります。

そんな時のもう一手のご紹介。

### アップデート履歴の削除

ウィンドウズアップデートは一定時期に行われますが、問題はそのアップデ

快適に動いてこそ、のコンピュータです。何事も使えばなし、ほったらかしはよくないものです。家の大掃除とともに、パソコンも大掃除してあげましょう。少し設定を触るだけで快適になるなら、是非トライしてみたい操作です。

ート履歴です。パソコン起動時にその履歴情報を読み込むことで時間がかかっています。この情報は削除しても問題ありませんので、削除してしまいいましましょう。

### 視覚効果の停止

画面操作上のアニメーション効果をオフにしてみましよう。画面が滑らかに表示されたり消えたり、マウスポインタの影といった視覚効果です。特に支障はありませんので停止してもOKです。



## ビスタや7は？

**7**はビスタの機能をかなり改善して誕生したOSなため、何もせずとも快適に使用できます。ただ、不要ファイルの削除は行っておきましょう。

**ビスタ**は立ち上がりが遅い、動作が鈍いなどXPより不安定な部分も目立ちます。



不要なサービスプログラム、スパイウェア対策として常駐するデーフエンダーソフト、デフラグの自動実行、ファイル検索のためのインデックス作成など、各サービスを停止してしまおう。

また、ビスタではUSBメモリをメインメモリの補助に使えるので、利用しない手はないでしょう。メモリの増設には費用がかかるが、USBメモリなら安価で手に入りますね。

作業手順の詳細は「教室のページ」で紹介していますので、そちらも参照してみてください。

今回の記事内容は、月刊誌「日経 PC21」を参考にさせていただきました。



★それではまた次月！★